

釜ヶ崎は、大阪市西成区にある日雇労働者の町です。

日雇労働力市場である、あいりん総合センター（寄り場）を中心に、簡易宿泊所（ドヤ）や食堂、飲み屋などが立ち並び簡宿街が形成されています。

かつて日雇労働者が3万人以上と言われていましたが、現在は1万人前後まで減少しています。近年建設産業の構造が、釜ヶ崎などの寄り場の求人から飯場やネットを中心とした労働力調達に変化しており、地域の日雇労働者の高齢化の進展とあいまって、就労できない日雇労働者が困窮し、野宿を余儀なくされる人々が依然として500～600人存在しています。長期の野宿生活が続いたまま、路上死や行旅病死に至る人も後を絶ちません。また、高齢化、単身の生活保護受給者の増加により社会的孤立など新たな課題が生まれてきています。



非正規雇用の拡大と社会保障制度の後退は、格差を広げ日々失業者や困窮者を生み出しています。日雇労働市場の収縮と変化は、それらの人々の建設日雇での吸収をも困難にしており、今後中高年者を中心として再びホームレス状態に陥る人が増えることが危惧されています。

釜ヶ崎は、野宿生活者と野宿に至るおそれのある人々が、日本で最も多く集中する街であり、この地で有効な施策を実施することが、今後の日本全体の就労を含めた社会福祉を設計するにあたり試金石となると考えます。

釜ヶ崎支援機構は、野宿生活者と野宿に至るおそれのある人々の現状をしっかりと踏まえて、提言を積極的に行います。

特定非営利活動法人 釜ヶ崎支援機構[NPO釜ヶ崎]			
北事務所	〒557-0004 大阪府大阪市西成区萩之茶屋1-5-4	TEL:06-6630-6060	FAX:06-6630-9777
南事務所（お仕事支援部）	大阪市西成区萩之茶屋3-6-12	TEL:06-6645-0246	FAX:06-6645-0369
あいりんシェルター	大阪市西成区萩之茶屋1-9-27	TEL:06-6645-8101	
日雇労働者就労支援センター（禁酒の館）	大阪市西成区萩之茶屋1-9-27 1F		
相談支援事業部	大阪市西成区萩之茶屋1-9-27 2F	TEL:06-6645-0388	FAX:06-6645-0389
リサイクルプラザ	大阪市西成区萩之茶屋3-6-29	TEL:06-6630-6577	FAX:06-6630-6578
チャリティ自転車ポタリン	大阪市阿倍野区昭和町1-8-14	TEL:06-6628-5622	FAX:06-6628-5623
ひと花センター	大阪市西成区太子1-13-15	TEL:06-6649-7890	FAX:06-6649-7891
HP : http://www.npokama.org E-Mail : npokama@npokama.org			
facebook : https://www.facebook.com/npokama			
※寄付の振込は次の口座をお願いいたします。郵便振替：00900-1-147702 釜ヶ崎支援機構			

2017年9月 改訂

NPO法人 釜ヶ崎支援機構

釜ヶ崎支援機構は、釜ヶ崎の現状を踏まえ、野宿生活者と野宿に至るおそれのある人々の、社会的処遇の改善や、その自立支援が図られるような地域の形成に関する事業を行うことにより、社会福祉の向上を図ることを目的に活動する団体です。

私たちは、就労機会拡大と居住・生活の安定により、野宿生活をしなくてもよい社会の形成を目指しています。

- ホームレス化の予防
- ホームレス状態からの脱却
- 再ホームレス化の防止を支えるために、
制度の隙間を埋める多彩な支援事業を展開しています。

就労支援と福祉援護の垣根を越える、
総合支援を目指します。

官民協働のセーフティネットワークで、
ソーシャルインクルージョンの実現を目指します。

理事長	山田 實（常勤理事）	理事	富田 一幸（株式会社ナイス 代表取締役）
副理事長	福田 佳昭（就労事業部 元管理者）	理事	本田 哲郎（フランスシスコ会神父・ふるさとの家）
理事	東 憲一（ <small>連合大阪・大阪市 地域協議会事務局長</small> ）	理事	真田 實千代（NPOまちづくり今宮 理事長）
理事	乾 繁夫（大阪市社会福祉協議会 会長）	理事	島 和博（大阪市立大学大学院 元教授）
理事	松本 裕文（事務局長）	監事	田中 康夫（萩之茶屋社会福祉協議会 会長）
法人認証年月日 1999年9月29日			

基礎的支援事業分野

高齢者特別清掃事業（社会的就労事業）

あいりん地域内 / 地域外清掃・除草・補修等作業

釜ヶ崎の55歳以上の日雇労働者を雇用して、大阪府下および市内の施設や道路などの清掃・除草や、保育所の遊具のペンキ塗りなどの作業を実施しています。

勤労意欲の継続・健康の維持・社会参加意識の醸成・自立の一助とするため、野宿を余儀なくされる高齢日雇労働者に、就労機会の提供を行っています。

1994年からはじまった大阪府および大阪市の事業で、釜ヶ崎支援機構は1999年11月より委託を受けています。

2016年度は1日あたり平日176人、休日明け187人（うち20人は他業者）の就労機会の提供を行っています。

- ▲ 55歳以上の釜ヶ崎の高齢日雇労働者を対象とした輪番登録制による就労制度です。2017年度9月の登録人数は1,223人です。
- ▲ 朝8時半から西成労働福祉センターで登録番号順に紹介を受けます。1日5,700円の収入で、現在は一人当たり月に5～6回番号が回っています。

あいりん労働福祉センター就労斡旋機能向上事業

高齢者特別清掃の登録者をひとり3日間就労で1日あたり26人雇用し、あいりん総合センターで求人車両の誘導などの作業を実施しています。大阪府からの委託事業です。

- ▲ 朝5～10時の就労で、1日5,700円の収入になります。



居場所支援事業

夜間宿泊所運営事業（シェルター）

2000年より大阪市から受託して、シェルターの管理・運営を行ってきました。

2016年1月からは、新築されたあいりんシェルターにて最大532人分の寝場所を提供しています。

- ▲ 利用は1日単位で、夕方5時半に利用券を配布し、翌朝5時までの利用となっています。

憩いの場提供事業

昼間の休憩や交流の場所として、また就労・生活支援のために、「禁酒の館」の名称で、日中の休憩、交流、就労・生活支援のための居場所を運営しています。また、シャワー・洗濯機を無料で利用できます。

相談・サポート事業分野

相談支援事業

野宿生活者からの相談を受けて、野宿生活からの転換を図れるよう当事者の主体性を尊重した寄りそい型の支援を行っています。医療・債務・年金・生活保護・依存症からの回復支援・障がい手帳の取得など、活動は多岐にわたります。

生活改善・健康相談事業

2008年度より、夜間宿所と禁酒の館で生活相談を開始し、就労・医療・福祉につなげる窓口を拡げました。また、特別清掃事務所に血圧計を設置するとともに、医療関係者の協力を得て健康相談を行っています。

訓練・就労準備分野

内職作業提供事業

大阪ホームレス就業支援センターの1階を借りて、民間企業から受注した内職作業を提供しています。工賃は少額ですが、就労リズムを整えて就職活動につなげていくことを目指しています。また、生活保護受給者の就労・福祉混合型自立にも役立っています。

社会的企業分野

公園管理共同事業

2006年度より、民間企業とJV(共同企業体)を組み、大阪府宮住吉公園と住之江公園の指定管理者の一員としてかわり、職場体験や訓練の場として活用しています。

自転車リサイクルシステム構築事業

リサイクル中古自転車の整備・販売を行うことで、仕事づくりを目指しています。

その他就労提供事業

高齢者特別清掃事業と同じような清掃・除草・補修等を中心に、よろず作業を民間企業や社会福祉法人、大阪ホームレス就業支援センターなどから請負や委託を受け、行政からの受託に限らない就労機会の提供に努めています。



釜ヶ崎支援機構の取り組み

就労相談・就職支援事業

2006年1月、無料職業紹介事業の許可を受けました。あいりん職安南分室跡の建物を借りて「お仕事支援部」を開設し、大阪ホームレス就業支援センターからの委託を受けて、求人開拓や求人紹介、就職相談、履歴書の書き方のアドバイス、面接時の携帯電話や自転車の貸出などの就職活動支援を行っています。

また、2階ではインターネットで求人検索できるようになっており、就職支援セミナー等の会場にも使用しています。

西成区単身高齢生活保護受給者の社会的つながりづくり事業

高齢の生活保護受給者に社会参加および生活支援（金銭の預り・服薬の見守り）のプログラムを提供することで、孤立を防ぎ生活自立・社会自立を助け、地域の活性化につなげる事業です（通称：ひと花プロジェクト）。

2013年7月にスタートしました。農作業、地域の清掃やイベントへの参加、アートなど多様なプログラムを実施しています。地域で活動するNPO法人と連合体を結成して西成区より事業受託しています。